

新潟県長岡市

テーマ:ひとを育み、未来へつなげる 米百俵のまち長岡



市域面積：891.06km²
 人口：266,344人
 (R3.1時点)

【立地適正化計画】
 平成29年7月公表 (都市機能誘導区域)
 平成29年7月公表 (居住誘導区域)
 【都市再生整備計画 (滞在快適性等向上区域)】
 令和3年4月公表予定

○ **人づくりと産業振興の拠点「米百俵プレイス(仮称)」において、未来を担う子どもたちが郷土の歴史・文化に触れ、最先端の学びを体験し、若者の起業・創業や地場産業の育成を支援して、民間の経済活動や若者の活動を活性化させる。また、官民連携により公共空間を活用して、まちの居心地を高め、偏在する人の流れと賑わいをまち全体に拡げて、まちを未来へ繋いでいく。**

○テレワーク施設(コワーキングスペース等)の整備

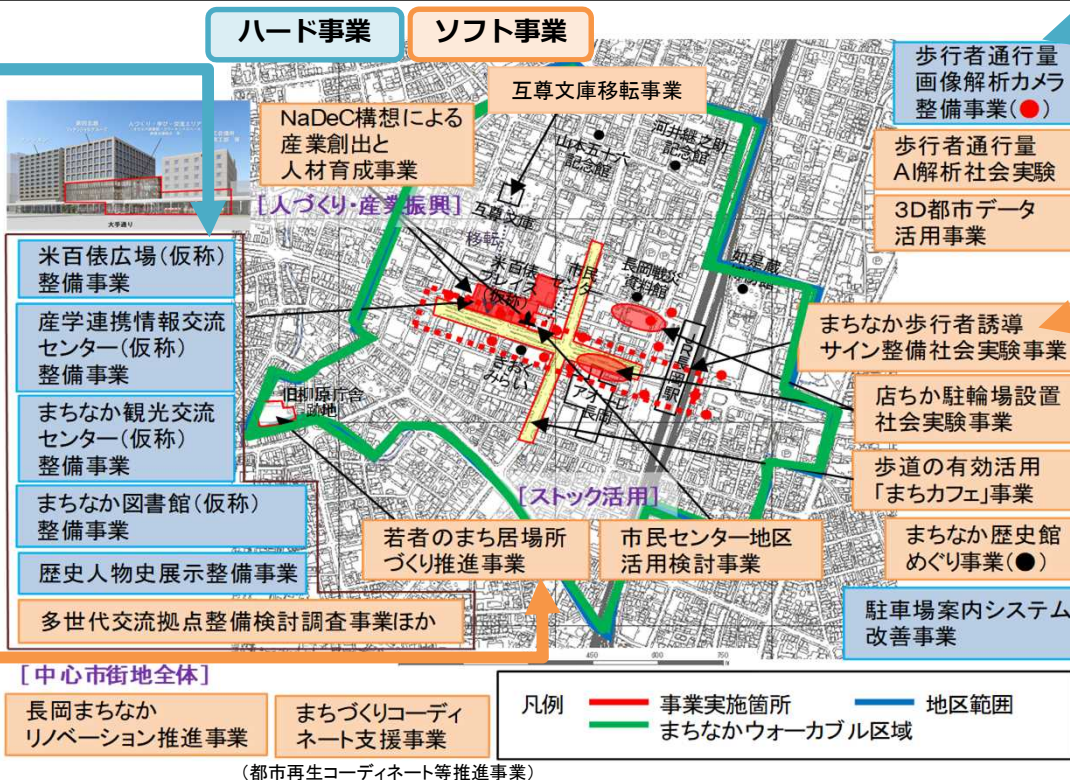
市内4大学1高専の高度な専門性や多様な学生の行動力、地場産業の高い技術力をまちづくりに活かす。最先端技術を導入したコワーキングスペースやファブラボ等を完備した産業振興拠点「米百俵プレイス(仮称)」を整備して、長岡版イノベーションを推進。



「NaDeC BASE」
 4大学1高専のイノベーション拠点の先行実施

○遊休ストックの活用

若者自身が参加し、魅力を生み出すまちづくりを実現するため、現在更地となっている柳原町の旧市役所庁舎跡地(市有地、約4,000m²)を活用して、若者の活動や地域との交流に繋がるソフト事業に試行的に取り組む。



○ **新技術を用いたサービス提供**
 中心市街地の賑わいの現状や変化を把握するため、主要街路に設置した**定点カメラの歩行者の映像をAI技術で解析し、効果的な施策を展開して、まちなか全体に賑わいを広げる。**
 AIを活用した歩行者通行量調査

3D都市データ(VR)

○ **街路空間の活用**
 中心市街地の賑わい創出や来街者の居場所づくりのため、歩道にテーブルやイスを置いて来街者が気軽に会話や飲食を楽しむ**オープンカフェ事業「まちカフェ」を実施。**歩道の路上駐輪場の設置や歩行者用の誘導サインを整備する社会実験、**オープンな公共空間を有効活用して、より居心地が良く歩きたくなるまちなかの実現を目指す。**

歩道の有効活用オープンカフェ事業「まちカフェ」



歩行者通行量
 中心市街地の歩行者通行量を増加基調に
 (従前値) 86,282人 (平成28年)
 → (目標値) 100,000人 (令和5年)

利用者数
 米百俵プレイス(仮称)「人づくり・学び・交流エリア」の利用者数を増加基調に
 (従前値) 51,692人 (平成28年)
 → (目標値) 146,100人 (令和5年)

中心市街地の起業数
 中心市街地の起業数を令和5年までに増加基調に
 (従前値) 5件 (平成29年)
 → (目標値) 8件 (令和5年)